

皮膚科のトリビア

179

浅井 俊弥
Asai, Toshiya

浅井皮膚科クリニック

〒240-0013 横浜市保土ケ谷区帷子町1-14

<http://www.asai-hihuka.com>

トリビア(trivia)=3を意味するtriと+道を意味するviaで
もとは三叉路の意。古代ローマで三叉路が多かったこと
から「どこにでもある場所」、そこから転じて「瑣末なこと」
となり、今では雑学的知識、豆知識、などを意味する言葉
として定着している。

本欄は、小誌編集委員の浅井先生が学会・研究会などで見聞きした「皮膚科のトリビア」をその都度まとめ、
連載しています。ご意見等ございましたら、ぜひ小誌「声」欄までお寄せください。

●第118回日本皮膚科学会総会から

令和元年6月8日

エビ、カニの殻で紫外線による
ダメージが減る?

エビ、カニの殻などに含まれるアスタキサンチンはトマトのリコピンやニンジン β -カロテンと同じカロテノイドで、抗酸化作用があることが知られている。

アスタキサンチン4 mgを配合したカプセルを健康人に8週間経口摂取させ、摂取前後のUVAに対するMEDを計測した。摂取群は43.3 mJ/cm²から48.4 mJ/cm²に延長したが、プラセボ群は42.7 mJ/cm²から44.0 mJ/cm²と変化が小さかった。

またそれぞれの群における紅斑部と健常部の水分量を比較すると、摂取群ではプラセボ群に比べ水分量の低下が約6割抑制されることを確認した。化粧品やサプリへの応用が期待できる。

一言コメント

「光線過敏症に有効な内服の治療薬が必要だと以前から思っている。美容関連のデータで、効果もわずかなようだが、光線過敏症の治療や悪化予防につながればよいと思う。」

●第118回日本皮膚科学会総会から

令和元年6月8日

Cogan症候群とは

50歳代の女性。関節リウマチ(RA)で治療中。3年前から回転性眩暈あり。発熱、水溶性下痢とともに眼痛と耳鳴が生じた。それと同時に両下腿に結節性紅斑が生じ、皮膚生検では小動脈の壊死性血管炎と好中球浸潤を伴う脂肪織炎であった。上記の病変から、Cogan症候群とそれに伴う血管炎と診断した。

Cogan症候群は非毒性間質性角膜炎と前庭聴覚症状を有する症候群として初めて報告された疾患で、2012年の新しい血管炎国際分類では、いずれのサイズの血管も侵襲する血管炎に分類された。眼症状(充血、眼痛、羞明)と内耳症状(悪心・嘔吐を伴うめまい発作、感音性難聴)をきたし、約15%に全身性血管炎を伴うことが知られている。

一言コメント

「こういったまれな疾患に遭遇することがあるので、結節性紅斑をみたらすべての症例で皮膚生検が必要だと思う。」

●第118回日本皮膚科学会総会から

令和元年6月8日

Apple Watchによるアトピー性
皮膚炎治療の評価

Apple Watch用の掻破動作計測アプリ, Itch Trackerを開発した. 就寝前に装着し, 掻破時間を加速度センサーで検知, 10秒以上の連続掻破行動の有無, 睡眠時間中の掻破時間の割合も表示する. アトピー性皮膚炎患者に装着し, Itch Trackerとビデオ撮影による目視を比較. 陽性的中率が90%, 感度は85%であった. また掻破時間, EASIに相関性が認められ, 客観的な痒みの評価法として有用である.

一言コメント

「湿疹・皮膚炎に対する抗ヒスタミン薬の有効性の比較などにも使えそうである. 患者に紹介してみよう.」

●第118回日本皮膚科学会総会から

令和元年6月8日

粘膜苔癬にタクロリムス軟膏が有効

口唇および頬粘膜の扁平苔癬. 白色レース状の角化とびらんないし潰瘍を伴う.

ステロイド軟膏外用, ステロイド含嗽で改善せず, タクロリムス軟膏1日2回の外用に変更し, 1週間で改善. 刺激感の訴えはなし.

適応外使用だが, ステロイド外用薬の次の手段として用いてもよいのではないか.

一言コメント

「皮膚の扁平苔癬には有効である印象はない. 粘膜なので上皮のバリアを超えられるためだろう. ただし, 粘膜苔癬が扁平上皮癌の発生母地になることもあるので, 一般的には勧めないほうがよさそうだ.」

●第118回日本皮膚科学会総会から

令和元年6月8日

好中球活性化マーカーとしての
P-SEP

P-SEP(プレセプシン)は可溶性のCD14 subtypeで, 感染症に伴う敗血症で高値を示す. 細菌を貪食したマクロファージのほか, 好中球からも産生される. 好中球が活性化している膿疱性乾癬におけるP-SEP値は, 敗血症のカットオフ値である500 pg/mLを下回るものの479.9 pg/mLと高かった. また膿疱性乾癬の治療により有意に改善し, 疾患活動性マーカーとして有用である.

一言コメント

「プレセプシンという名称は, 敗血症に移行する前から血中濃度が上昇することから命名された. ほかの敗血症マーカーであるプロカルシトニンに比べ非感染性の炎症を示す病態の影響を受けにくいとのこと. SLEの活動性とも関連しているらしい.」

●第118回日本皮膚科学会総会から

令和元年6月6日

高脂肪食は毛孔の過角化を誘導する

高脂肪食摂取モデルマウスでの検討. 組織学的に毛孔の開大と過角化が認められた. 一次刺激性接触皮膚炎を誘導すると, 毛穴への好中球浸潤が増加した. 遺伝子の発現パターンはTNF- α , IL-17が高値で, 肥満が悪化因子になる乾癬や化膿性汗腺炎と同様であった. ヒトにおいても高脂肪食摂取が毛孔の過角化と好中球が関与する皮膚症の発症リスクを高める可能性がある.

一言コメント

「化膿性汗腺炎をターゲットとする研究. 乾癬モデルマウスに高脂肪食を与えると乾癬が増悪する, というのとは別の話. 少し混乱してきた.」